

コレクターに提案する「捨てない片付け」





ターゲット

モノを収集(コレクション)するのが趣味のコレクター気質のクライアント。

主なイメージは、以下の通り。

- 20代後半～40代前半の既婚男性
- 自分の部屋またはスペースあり
- コレクションが趣味





解決すべき問題

1

趣味のモノを筆頭に、モノの総量が多い

3

モノの総量が多いため、趣味のモノが自分の空間からはみ出している

2

趣味のモノに限らず、モノを捨てる習慣が少ない

4

自分の空間は趣味のモノとそうでないものが混在しているが、「聖域」となってしまうなかなか捨てられず、新しいグッズが増える一方

まず行うこと

- ・片付けの効果の説明(精神的・経済的・時間的)、方向性のすり合わせ、基本的な理論のレクチャーを
として行う

- ・片付けのメリットやベネフィットをクッキリとイメージしてもらう

(例) スッキリした部屋、お気に入りのモノだけがキレイに飾られている棚や壁、探しものがない部屋、等





提案内容

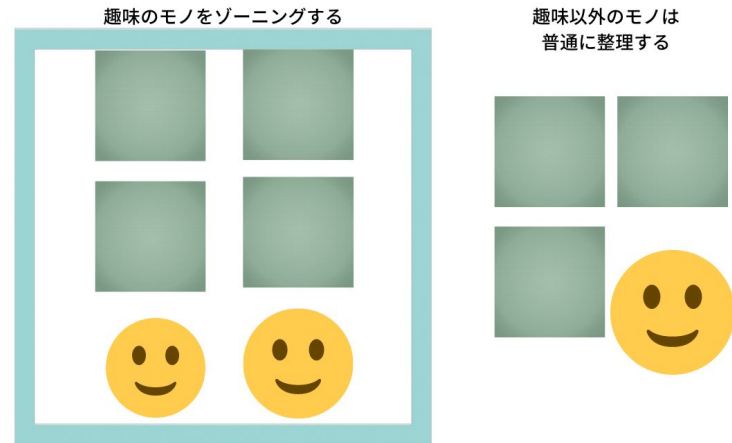
1. 趣味のモノとそれ以外をゾーニングする
2. 趣味のモノは捨てない前提で「仕分ける」
3. 趣味のモノもディスプレイ方法を工夫する

1.趣味のモノとそれ以外のものをゾーニングする

「この部屋(区画)に趣味のモノを集める」となどのように事前に決めた一箇所に集める

クライアントへの効果:

- 趣味のモノの全量が把握できる
- 「聖域」に紛れていた「スマイルマーク」を見つけ出せる(買い過ぎた文房具、余った電池...など)
- 大人向けコンテンツが有っても正しく管理ができる



2.趣味のモノは捨てない前提で「仕分ける」

概念図

クライアントと、「趣味のモノを仕分ける定義と取り扱いルール」について相談・決定したあと、クライアントに「仕分け」を依頼する

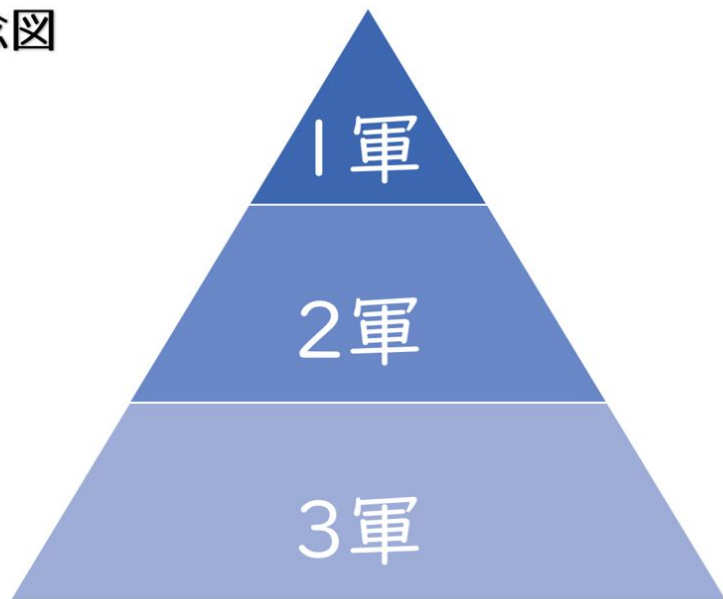
例)

1軍:いつも眺めていたいモノ

2軍:たまに眺めるモノ

3軍:なくても困らないモノ

スクラップ:状態が悪いモノ



2.趣味のモノは捨てない前提で「仕分ける」

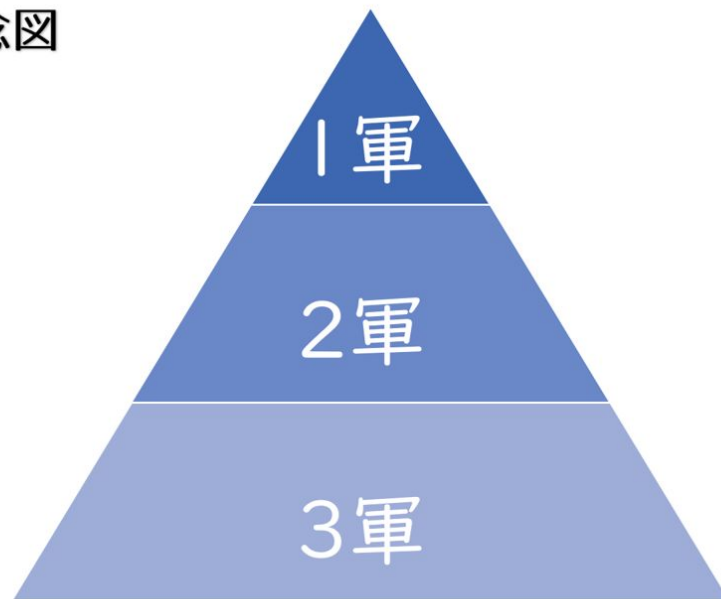
クライアントへの効果:

1軍のディスプレイ・飾り付けについて、いつも眺めていたいモノ(=飾ることがアクティブ状態)は何なのかハッキリさせ、なんとなく飾ることを減らす。

2軍はスタンバイ状態を基本と考え、見えないが出し入れしやすい収納方法を提案していく。

3軍はさらに買い直せるかどうかで分類し、買い直せないものは収納、買い直せるものはオークションなどで譲る

概念図



3.趣味のモノはディスプレイ方法を工夫する

仕分けした結果が1軍だったモノを中心に、ディスプレイ方法を工夫し、「いつも眺められること」と「生活空間にゆとりを持たせる」あるいは「探しものが減る使いやすい空間」を両立させることを目指す

クライアントへの効果:

飾り方のレパートリーが増える

気に入ったモノを厳選して飾れるようになる





提案内容まとめ

1. 趣味のモノとそれ以外をゾーニングする
2. 趣味のモノは捨てない前提で「仕分ける」
3. 趣味のモノもディスプレイ方法を工夫する